



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月9日
上場取引所 東

上場会社名 共和レザー株式会社
 コード番号 3553 URL <http://www.kyowale.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 花井 幹雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 阿部 恵造 TEL 053-425-2121
 定時株主総会開催予定日 2023年6月21日 配当支払開始予定日 2023年6月22日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月22日
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|--------|------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期 | 45,792 | △2.8 | 237 | △87.1 | 591 | △74.1 | 347 | △79.4 |
| 2022年3月期 | 47,096 | — | 1,840 | — | 2,285 | 19.8 | 1,684 | 16.8 |

(注) 1. 包括利益 2023年3月期 429百万円 (△80.4%) 2022年3月期 2,194百万円 (30.6%)

2. 当連結会計年度より、営業外収益に含めていたECサイトの収益を売上高へ区分変更しております。これに伴い2022年3月期の実績も同様に組替えて表示しているため、対前期増減率は記載しておりません。

| | 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | % | % | % |
| 2023年3月期 | 14.41 | 1.0 | 1.1 | 0.5 |
| 2022年3月期 | 68.85 | 5.1 | 4.3 | 3.9 |

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 40百万円 2022年3月期 144百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期 | 52,951 | 34,530 | 63.3 | 1,389.82 |
| 2022年3月期 | 54,275 | 34,680 | 62.3 | 1,402.17 |

(参考) 自己資本 2023年3月期 33,492百万円 2022年3月期 33,789百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2023年3月期 | 2,960 | △1,941 | △703 | 9,209 |
| 2022年3月期 | 2,966 | △2,747 | △1,419 | 8,882 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2022年3月期 | — | 14.00 | — | 14.00 | 28.00 | 680 | 40.4 | 2.0 |
| 2023年3月期 | — | 10.00 | — | 10.00 | 20.00 | 481 | 138.8 | 1.4 |
| 2024年3月期(予想) | — | 10.00 | — | 10.00 | 20.00 | | 56.7 | |

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|-------|-------|------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 22,500 | 4.2 | 150 | — | 150 | 12.1 | 100 | 12.3 | 4.15 |
| 通期 | 47,500 | 3.7 | 1,000 | 321.0 | 1,000 | 69.2 | 850 | 144.7 | 35.27 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年3月期 | 24,500,000株 | 2022年3月期 | 24,500,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期 | 401,757株 | 2022年3月期 | 401,757株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2023年3月期 | 24,098,243株 | 2022年3月期 | 24,464,909株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|------|-------|---|-------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期 | 31,662 | △7.3 | △479 | — | 96 | △94.5 | 74 | △94.4 |
| 2022年3月期 | 34,155 | — | 1,157 | — | 1,734 | △15.5 | 1,334 | △15.4 |

(注) 当事業年度より、営業外収益に含めていたECサイトの収益を売上高へ区分変更しております。これに伴い2022年3月期の実績も同様に組替えて表示しているため、対前期増減率は記載しておりません。

| | 1株当たり 当期純利益 |
|----------|----------------|
| | 円 銭 |
| 2023年3月期 | 3.08 |
| 2022年3月期 | 54.56 |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期 | 44,765 | 29,162 | 65.1 | 1,210.15 |
| 2022年3月期 | 45,724 | 29,719 | 65.0 | 1,233.27 |

(参考) 自己資本 2023年3月期 29,162百万円 2022年3月期 29,719百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況（今後の見通し）」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) | 12 |
| (セグメント情報等) | 14 |
| (1株当たり情報) | 15 |
| (重要な後発事象) | 15 |
| 4. その他 | 16 |
| 役員の異動 | 16 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限は徐々に緩和されましたが世界的な半導体供給不足による生産阻害、原材料やエネルギー価格高騰による物価上昇が企業業績や個人消費に影響を与えるなど先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当企業グループの連結売上高は、457億9千2百万円と前期（470億9千6百万円）に比べ2.8%の減少となりました。

売上高を用途別にみますと、車両用につきましては、主として当社の主要顧客である自動車メーカーからの受注減少などにより、385億9千6百万円と前期（401億8千1百万円）に比べ3.9%の減少となりました。一方、拡販活動の成果などにより、住宅・住設用につきましては、31億8千1百万円と前期（30億6千5百万円）に比べ3.8%の増加となり、ファッション・生活資材用につきましては、40億1千3百万円と前期（38億4千8百万円）に比べ4.3%の増加となりました。

利益面につきましては、原価改善など収益の確保に努めてまいりましたが、売上高の減少や原材料・燃料価格高騰による影響が大きく、連結経常利益は5億9千1百万円（前年同期連結経常利益22億8千5百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は3億4千7百万円（前年同期親会社株主に帰属する当期純利益16億8千4百万円）となりました。

(今後の見通し)

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の分類変更による経済活動の正常化に加え、自動車業界における半導体問題に明るい兆しが見え始めるなど、景気が持ち直していくことが期待されます。しかしウクライナ問題の長期化による物価上昇に加え、世界的な金融引き締めによる海外景気の下振れ懸念もあり、景気の先行きは予断を許さない状況です。

このような状況の中、当企業グループといたしましては、顧客からの受注回復に適切に対応するとともに、引き続きムダの徹底排除を行うことで業績の回復に努めてまいります。

次期の業績につきましては、連結売上高は475億円、連結経常利益は10億円、親会社株主に帰属する当期純利益は8億5千万円を見込んでおります。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2.4%減少し、529億5千1百万円となりました。

資産の部では、流動資産は前連結会計年度末に比べ1.7%減少し、295億6千2百万円となりました。これは主として売掛金が減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3.3%減少し、233億8千9百万円となりました。これは主として投資有価証券が減少したことによります。

負債の部では、流動負債は前連結会計年度末に比べ6.4%減少し、159億2千5百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3.4%減少し、24億9千5百万円となりました。これは主として、その他に区分されているリース債務が減少したことによります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ0.4%減少し、345億3千万円となりました。これは主として利益剰余金が減少したことによります。

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億2千6百万円増加し、92億9百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは29億6千万円の収入となりました。

これは主に税金等調整前当期純利益及び減価償却費によるもので、前期に比べ6百万円の収入減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、19億4千1百万円の支出となりました。

これは主に有形固定資産の取得によるもので、前期に比べ8億5百万円の支出減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億3百万円の支出となりました。

これは主に配当金の支払いによるもので、前期に比べ7億1千6百万円の支出減少となりました。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置づけております。この考えのもと配当金につきましては、継続的に配当を行うよう努めるとともに、業績および配当性向等を総合的に勘案し、株主の皆様のご期待にお応えしていきたいと考えております。

当期の配当金につきましては、中間配当金を1株につき10円とさせていただきますが、期末配当金は1株につき10円とし、年間としては1株につき20円とさせていただきます予定です。

また、次期の配当金は年間で20円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当企業グループの連結財務諸表は、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（第7章及び第8章を除く）」（昭和51年大蔵省令第28号）に基づいて作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,882 | 9,209 |
| 受取手形 | 523 | 503 |
| 売掛金 | 10,082 | 9,564 |
| 電子記録債権 | 3,012 | 3,240 |
| 有価証券 | 1,701 | 1,502 |
| 商品及び製品 | 3,444 | 3,148 |
| 仕掛品 | 709 | 686 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,275 | 1,335 |
| その他 | 559 | 502 |
| 貸倒引当金 | △107 | △130 |
| 流動資産合計 | 30,083 | 29,562 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 13,835 | 14,027 |
| 減価償却累計額 | △10,118 | △10,150 |
| 建物及び構築物(純額) | 3,716 | 3,876 |
| 機械装置及び運搬具 | 34,584 | 33,183 |
| 減価償却累計額 | △28,926 | △27,819 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 5,657 | 5,364 |
| 土地 | 3,716 | 3,769 |
| 建設仮勘定 | 418 | 250 |
| その他 | 5,293 | 5,225 |
| 減価償却累計額 | △4,754 | △4,644 |
| その他(純額) | 539 | 580 |
| 有形固定資産合計 | 14,049 | 13,842 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 92 | 91 |
| その他 | 386 | 587 |
| 無形固定資産合計 | 478 | 679 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,754 | 5,769 |
| 長期貸付金 | 40 | 39 |
| 繰延税金資産 | 790 | 861 |
| 退職給付に係る資産 | 787 | 807 |
| その他 | 1,313 | 1,411 |
| 貸倒引当金 | △24 | △23 |
| 投資その他の資産合計 | 9,663 | 8,867 |
| 固定資産合計 | 24,191 | 23,389 |
| 資産合計 | 54,275 | 52,951 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,549 | 7,062 |
| 電子記録債務 | 4,325 | 4,440 |
| 短期借入金 | 433 | 342 |
| 未払金 | 2,066 | 1,912 |
| 未払法人税等 | 280 | 34 |
| 役員賞与引当金 | 84 | 92 |
| 資産除去債務 | 1 | 1 |
| その他 | 2,268 | 2,038 |
| 流動負債合計 | 17,011 | 15,925 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 173 | 166 |
| 退職給付に係る負債 | 2,283 | 2,313 |
| 資産除去債務 | 15 | 15 |
| その他 | 111 | - |
| 固定負債合計 | 2,583 | 2,495 |
| 負債合計 | 19,595 | 18,421 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,810 | 1,810 |
| 資本剰余金 | 1,654 | 1,654 |
| 利益剰余金 | 29,285 | 29,054 |
| 自己株式 | △273 | △273 |
| 株主資本合計 | 32,477 | 32,246 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 488 | 438 |
| 為替換算調整勘定 | 558 | 679 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 266 | 128 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,312 | 1,246 |
| 非支配株主持分 | 890 | 1,038 |
| 純資産合計 | 34,680 | 34,530 |
| 負債純資産合計 | 54,275 | 52,951 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 47,096 | 45,792 |
| 売上原価 | 38,524 | 38,513 |
| 売上総利益 | 8,572 | 7,278 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運賃及び荷造費 | 1,646 | 1,791 |
| 給料手当及び賞与 | 2,245 | 2,252 |
| 退職給付費用 | 35 | 32 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 85 | 87 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 38 | 40 |
| 減価償却費 | 215 | 191 |
| のれん償却額 | 42 | — |
| 研究開発費 | 827 | 839 |
| その他 | 1,594 | 1,803 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 6,731 | 7,040 |
| 営業利益 | 1,840 | 237 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7 | 9 |
| 受取配当金 | 44 | 48 |
| 持分法による投資利益 | 144 | 40 |
| 仕入割引 | 11 | 10 |
| 固定資産売却益 | 8 | 13 |
| 為替差益 | 295 | 270 |
| その他 | 59 | 48 |
| 営業外収益合計 | 570 | 443 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 32 | 24 |
| 固定資産除却損 | 77 | 38 |
| その他 | 16 | 27 |
| 営業外費用合計 | 126 | 89 |
| 経常利益 | 2,285 | 591 |
| 特別利益 | | |
| 助成金収入 | 41 | 25 |
| 特別利益合計 | 41 | 25 |
| 特別損失 | | |
| 休業手当 | 44 | 46 |
| 特別損失合計 | 44 | 46 |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,281 | 569 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 542 | 110 |
| 法人税等調整額 | 15 | 8 |
| 法人税等合計 | 558 | 119 |
| 当期純利益 | 1,722 | 450 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 38 | 102 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,684 | 347 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 当期純利益 | 1,722 | 450 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 159 | △50 |
| 為替換算調整勘定 | 254 | 113 |
| 退職給付に係る調整額 | △56 | △137 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 114 | 52 |
| その他の包括利益合計 | 471 | △21 |
| 包括利益 | 2,194 | 429 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 2,056 | 280 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 138 | 148 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,810 | 1,654 | 28,287 | △0 | 31,750 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △685 | | △685 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 1,684 | | 1,684 |
| 自己株式の取得 | | | | △272 | △272 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 998 | △272 | 726 |
| 当期末残高 | 1,810 | 1,654 | 29,285 | △273 | 32,477 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|----------|------------------|-------------------|---------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括 利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 328 | 289 | 322 | 940 | 751 | 33,443 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △685 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | | | 1,684 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △272 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 159 | 269 | △56 | 372 | 138 | 510 |
| 当期変動額合計 | 159 | 269 | △56 | 372 | 138 | 1,236 |
| 当期末残高 | 488 | 558 | 266 | 1,312 | 890 | 34,680 |

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,810 | 1,654 | 29,285 | △273 | 32,477 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △578 | | △578 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 347 | | 347 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | △231 | — | △231 |
| 当期末残高 | 1,810 | 1,654 | 29,054 | △273 | 32,246 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|----------|------------------|-------------------|---------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括 利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 488 | 558 | 266 | 1,312 | 890 | 34,680 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △578 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | | | 347 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | △50 | 120 | △137 | △66 | 148 | 81 |
| 当期変動額合計 | △50 | 120 | △137 | △66 | 148 | △149 |
| 当期末残高 | 438 | 679 | 128 | 1,246 | 1,038 | 34,530 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,281 | 569 |
| 減価償却費 | 2,470 | 2,550 |
| のれん償却額 | 42 | — |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △71 | 18 |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | △122 | △172 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △14 | △13 |
| 受取利息及び受取配当金 | △51 | △58 |
| 支払利息 | 32 | 24 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △144 | △40 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | △2 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 1 | — |
| 固定資産売却損益 (△は益) | △8 | △13 |
| 固定資産除却損 | 77 | 38 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 245 | 345 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △1,452 | 339 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △319 | △586 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | 99 | △12 |
| その他 | 343 | 452 |
| 小計 | 3,409 | 3,439 |
| 利息及び配当金の受取額 | 169 | 66 |
| 利息の支払額 | △32 | △14 |
| 法人税等の支払額 | △616 | △533 |
| その他 | 36 | 3 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,966 | 2,960 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,490 | △2,712 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 12 | 35 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △200 | △329 |
| 有価証券の取得による支出 | △999 | — |
| 有価証券の償還による収入 | 1,600 | 1,700 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △600 | △597 |
| その他 | △69 | △36 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,747 | △1,941 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △361 | △114 |
| 配当金の支払額 | △684 | △577 |
| 自己株式の取得による支出 | △272 | — |
| リース債務の返済による支出 | △100 | △11 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,419 | △703 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 19 | 10 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △1,180 | 326 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 10,063 | 8,882 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 8,882 | 9,209 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社 (3社)

共和ライフテクノ(株)、共和サポートアンドサービス(株)、共和興塑膠(廊坊)有限公司

(2) 非連結子会社 (1社)

KYOWA NORTH AMERICA, INC.

連結の範囲から除いた理由

非連結子会社は小規模会社であり、総資産、売上高、当期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等は、いずれも連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であるためです。

2 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法適用会社 (1社)

南亞共和塑膠(南通)有限公司

持分法適用会社の決算日(12月31日)は連結決算日(3月31日)と異なっており、直近の事業年度に係る財務諸表を使用しております。

(2) 持分法を適用しない非連結子会社 (1社)

KYOWA NORTH AMERICA, INC.

持分法を適用しない理由

持分法を適用しない非連結子会社は、当期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないためです。

3 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち共和興塑膠(廊坊)有限公司の決算日は12月31日であります。連結財務諸表の作成に当たっては、同決算日現在の財務諸表を使用しております。ただし、1月1日から連結決算日3月31日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

4 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

(イ) 満期保有目的の債券

償却原価法(定額法)によっております。

(ロ) 子会社株式及び関係会社出資金

移動平均法による原価法によっております。

(ハ) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

時価法によっております。なお、評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法によっております。

② デリバティブ

時価法によっております。

③ 棚卸資産

主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)によっております。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

主として定率法を採用し、耐用年数、残存価額については法人税法に定める基準と同一の基準によっております。

② 無形固定資産

定額法によっております。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率等を勘案し、また貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 役員賞与引当金

役員賞与の支出に備えて、当連結会計年度において負担すべき支給見込額を計上しております。

③ 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく当連結会計年度末要支給額を計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

① 退職給付見込額の期間帰属方法

従業員の退職給付に備えるため、確定給付制度を採用しており、当連結会計年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき、当連結会計年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

② 過去勤務費用及び数理計算上の差異の費用処理方法

過去勤務費用については、主としてその発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異については、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理しております。

③ 未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の会計処理方法

未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用については、税効果を調整の上、純資産の部におけるその他の包括利益累計額の退職給付に係る調整累計額に計上しております。

④ 小規模企業等における簡便法の採用

一部の連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(5) 重要な収益及び費用の計上基準

当企業グループは、下記の5ステップアプローチに基づき、収益を認識しております。

ステップ1：顧客との契約を識別する

ステップ2：契約における履行義務を識別する

ステップ3：取引価格を算定する

ステップ4：取引価格を契約における履行義務に配分する

ステップ5：企業が履行義務の充足時に（または充足するにつれて）収益を認識する

当企業グループは各種合成表皮材の製造ならびに販売を行っており、主にこのような商品又は製品を顧客に供給することを履行義務としております。当該履行義務は商品又は製品に対する支配を顧客が獲得した時点で充足されるものでありますが、商品又は製品の国内の販売において、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、原則として出荷時に収益を認識しております。商品又は製品の販売から生じる収益は、顧客との契約において約束された対価から、値引きなどを控除した金額で測定しております。履行義務に対する対価は、履行義務充足後、別途定める支払条件により概ね1年以内に受領しており、重大な金融要素は含んでいません。

(6) 重要な外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社等の資産及び負債・収益及び費用は連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定及び非支配株主持分に含めております。

(7)重要なヘッジ会計の方法

① ヘッジ会計の方法

振当処理の要件を満たしている先物為替予約取引については振当処理によっております。

② ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段・・・先物為替予約

ヘッジ対象・・・外貨建債権債務

③ ヘッジ方針

内部規定に基づき、為替相場変動リスクをヘッジしております。

④ ヘッジ有効性評価の方法

外国通貨による決済見込額に対し、通貨種別、金額、履行時期等の重要な条件が同一である為替予約を行っているため、ヘッジ有効性の判定は省略しております。

(8) のれんの償却方法及び償却期間

のれんの償却については、少額の場合を除きその効果の及ぶ期間（10年）の定額法により均等償却を行っております。

(9) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金および容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当企業グループ（当社および連結子会社）は、その主な事業として各種合成表皮材の製造ならびに販売を行っており、単一セグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 1,402.17 円 | 1,389.82 円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 68.85 円 | 14.41 円 |

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額および1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

1 1株当たり純資産額

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|---|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額(百万円) | 34,680 | 34,530 |
| 純資産額の合計額から控除する金額(百万円) | 890 | 1,038 |
| (うち非支配株主持分)(百万円) | (890) | (1,038) |
| 普通株式に係る連結会計年度の純資産額(百万円) | 33,789 | 33,492 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた 連結会計年度の普通株式の数(千株) | 24,098 | 24,098 |

2 1株当たり当期純利益

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|-----------------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円) | 1,684 | 347 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円) | 1,684 | 347 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 24,464 | 24,098 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動（2023年6月21日付予定）

(1) 新任取締役候補

| | | |
|----------------|-------------------|----------------------|
| 取締役 (社外取締役) | おおい ゆういち 大井 祐一 | [現 愛三工業株式会社 社外取締役] |
|----------------|-------------------|----------------------|

(2) 昇任予定取締役

| | | |
|-----------|--------------------|-------------|
| 取締役専務執行役員 | かわしま りゅうた 河島 竜太 | [現 常務取締役] |
|-----------|--------------------|-------------|

| | | |
|-----------|--------------------|-------------|
| 取締役専務執行役員 | やながわ だいすけ 柳川 大介 | [現 常務取締役] |
|-----------|--------------------|-------------|

(3) 退任予定取締役

| | | |
|-------|-----------|--------------------------------------|
| 中村 直義 | なかむら なおよし | [現 常務取締役] 共和ライフテクノ株式会社 監査役に就任予定 |
|-------|-----------|--------------------------------------|

| | | |
|-------|-----------|------------------------|
| 稲垣 忠彦 | いながき ただひこ | [現 取締役] 執行役員に就任予定 |
|-------|-----------|------------------------|

| | | |
|-------|----------|------------------------|
| 鈴木 俊昭 | すずき としあき | [現 取締役] 執行役員に就任予定 |
|-------|----------|------------------------|

| | | |
|------|---------|------------------------|
| 永田 努 | ながた つとむ | [現 取締役] 執行役員に就任予定 |
|------|---------|------------------------|

| | | |
|-------|----------|------------------------|
| 松田 行央 | まつだ ゆきひさ | [現 取締役] 執行役員に就任予定 |
|-------|----------|------------------------|

| | | |
|-------|------------|------------------------|
| 中村 修一 | なかむら しゅういち | [現 取締役] 執行役員に就任予定 |
|-------|------------|------------------------|

| | | |
|-------|---------|-------------------|
| 天野 利紀 | あまの としき | [現 取締役 (社外取締役)] |
|-------|---------|-------------------|

以上